



## 《幼稚園の特色》

平田幼稚園は、住宅や商店の多い地域にあります。かつての平田町は田園が広がり、のどかな地域でしたが宅地開発が進み、次々に商店が建ち、今では周りの様子がすっかり変わってしまいました。しかし、少し足をのばせば地域の人たちの手によって大切に守られてきた観音山や田畑の自然が残っています。

春や秋など季節のよい時期には、たびたび山や地域に園外保育に出かけ四季折々変化する自然の中で思いきり遊びます。そして、いろいろな場やものと出合い、それらを園の遊びや生活（くらし）に取り入れ、友だちと共に楽しい遊びを創り出しています。

幼稚園では、そうした保育を通して、一人一人が育つ過程を追いながら、自ら考え、判断し、行動し、その責任を担う『生きる力』の基礎となる道徳性の芽生えを培っていきたいと考えています。

《 ～こんな子どもに育ててほしい！！～ 》

きらきらと瞳輝く平幼っ子

〈一園一約束…あいさつをしよう〉

- 明るく元気な子
- 心豊かでやさしい子
- 自分で考えがんばる子

### 《 保 育 の 重 点 》

- ・ 基本的な生活習慣が身に付くようにします。
- ・ 善悪の判断ができる子、自分をコントロールしようとする子、社会規範・集団生活のマナーを身に付けられる子の育成をめざします。
- ・ 自然のすばらしさに気付くとともに、様々な人やものとのかかわりを広げていきます。
- ・ 「いのち」や「人権」を大切にする心を育みます。
- ・ 絵本やお話に親しめるようにします。
- ・ 就学にむけて滑らかな接続をはかります。

### 《 楽 しい 幼 稚 園 の 生 活 》

#### ① 元気に遊ぼう（3歳児）



「♪やねよりたかいこいのぼり～♪」  
 「こいのぼりは、風さんとお友だちみたい」  
 「ぼくのこいのぼりもすてきでしょ」

#### ② 先生や友だちと一緒に（5歳児）



「わっしょい、わっしょい」  
 「まつりみこしが、やってきた」  
 「みんなの力を合わせよう」

#### ③ 園外保育（4・5歳児）



「どんぐり みつけた」  
 「私も・・・」  
 秋の山は、宝物が一杯です。

#### ④ みんなで劇遊び（3歳児）



「おおかみが来たよ」  
 「早くお家に入ろう」  
 「レンガのお家だから、大丈夫だよ」

⑤ いろいろな人とかかわって（5歳児）

5年生の人とゲームをしました。

「次は、どうする？」

「おにいちゃんってすごいね」

交流の日が楽しみです。



⑥ おうちの人と一緒に（4歳児）

お母さんと絵本を作りました。

「世界に1つしかない絵本だよ」

「ぼくのお話、聞いてよね」



## 園内研究

### (1) 研究主題

幼児の協同的な学びの姿をめざして  
～幼児の協同ってなんだろう～

### (2) 主題設定の理由

今日の社会状況の変化は、幼児が暮らす環境を急激に変化させてしまいました。かつては、生活する中で自然に得られた『育ちに必要な体験』が今では意識して求めなければ得にくい状況になっています。そうした中において、教育基本法が改正され、幼児期の教育が目指すことは、「生涯にわたる人間形成の基礎を培う」とことと明確に示されました。

家庭において親しい人間関係を軸にして営まれてきた生活から幼児は今、幼稚園という広い世界に目を向け始め、生活の場、他者との関係などに、興味関心が急激に広がってきています。いろいろなことに興味関心を向けるこの時期に人として生きていくための基礎となる力の育成が何よりも重要であると考えています。

そこで、幼児の発達や学びを学童期の発達や学びへとしっかりつなげていくために、3・4・5歳児の姿を追いながら、幼児期には何を育てるのかを明確にしていきたいと思います。また、幼稚園で行う多様な経験が統合化されて、学びに必要な基礎の体験になるように、環境や保育者の援助のあり方をさぐっていきます。

### (3) 研究内容

- ① 研究主題の共通理解と研究仮説や研究方法を設定します。
- ② 幼児にとっての協同の意味を探ります。
- ③ 日常の保育の中でのエピソードより発達の姿を捉え考察します。
- ④ 研究保育をとおして幼児の具体的な姿より協同的な学びに結びつくものを考えます。
- ⑤ 協同的な学びを支える環境構成と保育者の指導の実際より保育内容を改善します。
- ⑥ 育ちを支える園と家庭とのよりよい連携のあり方を探ります。

### (4) 過去3年間の研究主題と指定研究歴

平成17年度・平成18年度

「豊かな心をはぐくみ学びをつなぐ保育の在り方を求めて

— いろいろな人・もの・場とのかかわりをとおして —」

平成19年度

「豊かな心をはぐくみ学びをつなぐ保育の在り方を求めて

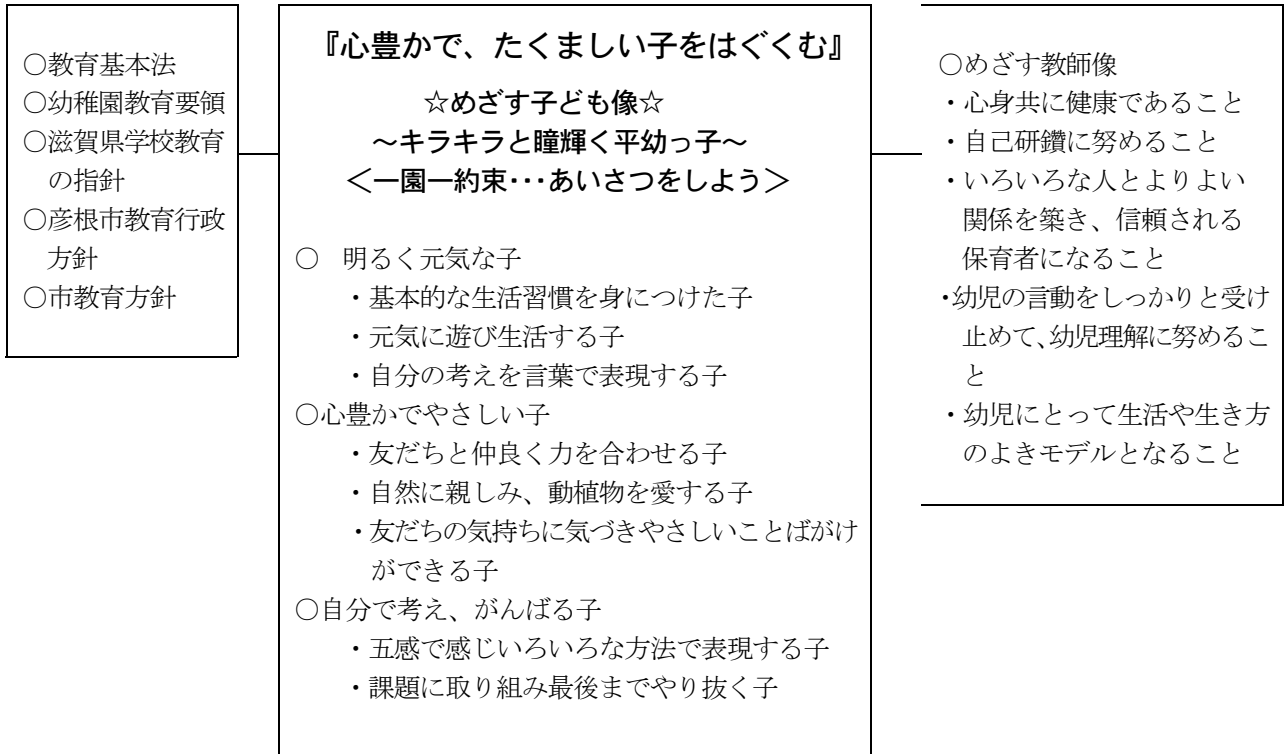
— 3・4・5歳児の発達の姿から —」

# 1 幼稚園経営管理全体計画（構想）

## (1) 幼稚園経営管理全体計画

### ① 教育目標

#### <教育目標>



<p>3歳児クラス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○クラスの友達や保育者と一緒に幼稚園で過ごす楽しさを知る。</li> <li>○園の生活の仕方がわかり、集団の生活中に必要な習慣を身につける。</li> </ul>	<p>4歳児クラス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○身の周りの人やものに進んでかわり、約束を守って仲良く遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>○全身を使って遊び、感じたことを言葉や体で表現できるようになる。</li> </ul>	<p>5歳児クラス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○幼稚園の生活や遊びに自ら進んで取り組み、目的を持って最後までやりとおす。</li> <li>○友だちの良さを認め合い、自分の思いや考えを伝え合うようになる。</li> </ul>
---	---	---

### ②教育推進の基本

<p>教育推進の基本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎健康な体と心を育む教育の推進</li> <li>◎基本的な生活習慣を育成する教育の推進</li> <li>◎自立心を育て、人と関わる力育む教育の推進</li> <li>◎「いのち」「人権」を大切にする教育の推進</li> <li>◎地域社会、文化、自然とかかわる体験を広げ、豊かな心情や思考力の芽生えを培う教育の推進</li> <li>◎特別な配慮を必要とする幼児に適切な支援を行う教育の推進</li> <li>◎地域に開き、信頼される特色のある幼稚園づくりの推進</li> <li>◎安全・安心な幼稚園づくりの推進</li> </ul>
--

### ③教育推進の重点

#### ～いろいろな ひと・もの・こと との出会いやふれあいを

#### ととして豊かな体験が得られる保育活動の推進～

- 安全・安心して生活できる幼稚園づくりに努める。
  - ・健康や安全に気をつけ、身の回りを整え、規則正しい生活をするなど基本的な生活習慣の定着を図る。
  - ・幼児の発達に応じて、その時期に必要な道具や遊具の使い方を知らせ、身につけさせる。
  - ・交通事故や不審者、災害などの危険な事柄について指導し、日頃から訓練を行うとともに、機会を捉えて自分の命を守ることの大切さを伝え指導する。
- 善悪の判断ができる、自分の気持をコントロールする、集団のルールを守る等の社会規範や、集団のマナーを身につけさせる。
  - ・友だちとのかかわりからおこる様々ないざこざや葛藤から、してよいことや悪いこと、生活のきまり等を実感として学ばせる。
  - ・道徳性の芽生えを培うために、日常生活の中できめ細かな指導を積み重ね、自分で考え行動できる子どもを育てる。
- 「いのち」、「人権」を大切にする心、思いやりの心、自然のすばらしさに感動する心など、豊かな心情を育む。
  - ・身近な動植物に親しみ、命にふれ、いたわりの気持を持つようにする。
  - ・自然の中に出かけ、友だちと一緒に遊ぶ中で豊かな感性をはぐくみ、共感しあう仲間作りをする。
- 様々な人やものとのかかわりを広げる
  - ・いろいろな人やものとのかかわりを広げ、そのかかわり方を学ぶとともに、場や状況に応じたふるまいができるようにする。
- 絵本や物語に親しみ豊かな心をはぐくむ。
  - ・継続して絵本や物語に親しむ時間を儲けて豊かな心情を育む。
  - ・人の話をしっかり聞く態度を育てる。
- 保・幼・小の連携を計画的に推進する。
  - ・幼児と児童との交流の機会を設定し、教師間での意見交流を通して相互理解を深める。
- 一人一人の障害に応じた特別支援教育の推進。
  - ・特別支援を必要とする子どもの理解に努め、全職員体勢での指導の取り組みを進める。
  - ・集団の中での指導、個々への指導を考え、保護者や関係機関との連携を密接にする。
- 地域・家庭との交流、連携を強化する。
  - ・幼児の個々の生活課題に基づき、共通の願いをもって家庭と幼稚園とで幼児の生活を支えていく。
  - ・地域の自然、文化、伝統などの、さまざま人やものとのかかわり多様な体験をする。その内容が幼児にとって充実したものとなるよう検討する。
- 教職員の資質や専門性、指導力向上を図る研修の充実。
  - ・教育要領の「生きる力」の基礎をはぐくむことの必要性とその内容を理解し、幼稚園教育の充実と改善に取り組む。
  - ・時代の変化に伴って生じる課題に対応できる力を身につける。(危機管理、子育て支援等)
  - ・園内研究・研修・個人研究の課題に積極的に取り組む姿勢を持つ。
  - ・専門職としての資質向上を図る研修に努める
  - ・職員同士が互いに学び合い、共に高まり合いながら、全員で研究を推進する雰囲気をつくる。